

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
26年 第8号	26.10.20	<p>身体障害者総合福祉施設建設に関する陳情</p> <p><b>【陳情趣旨】</b></p> <p>私たち身体障害者は、就労しているものは、ほんの僅かな数しか居らず、大半の方たちは、在宅での生活を余儀なくされている。</p> <p>さて、視覚に障害を持つ方については、水戸の県立盲学校しかなく、聴覚や言語に障害を持つ方についても水戸、阿見の2校だけで、阿見の県立霞ヶ浦ろう学校で、霞ヶ浦ろう学校では、中学部しかなく、高等部には水戸まで行かないといけない。3校とも寄宿舎を有している。</p> <p>肢体に不自由を持つ方の学校は、水戸、水戸こども病院分校、下妻、つくばの3校と1分校しかなく、水戸、下妻にはスクールバスと寄宿舎があり、つくばは、スクールバスだけである。</p> <p>知的に障害を有する者は、北茨城、大子、勝田、水戸飯富、水戸高等、友部、鹿島、土浦、美浦、結城、協和、伊奈、境の県立があり、スクールバス通学をし、友部には唯一の寄宿舎がある。公立には、茨城大学付属学校、市立には、日立がある。つくば市内の方は、つくばに肢体不自由児と共学をしている。病弱な方々が通うのは、友部東、筑波大学付属病院に友部東筑波分校がある。</p> <p>当坂東市は、県西地域にあたるので、管轄している障害児学校は、県立盲学校、県立霞ヶ浦ろう学校、県立境特別支援学校、県立下妻特別支援学校（下妻養護学校）が対象である。下妻から市内各所に大型リフト付きスクールバスが来ている。</p> <p>生まれながらにして肢体に不自由を持つ者には、下妻特別支援学校（下妻養護学校）を卒業後は、ほとんどの方々が岩井福祉センター「夢積館」、猿島福祉センター「ほほえみ」のデイサービスを日中限られた時間のなかで生活をしている。年々、確実に増えていくのを見て、何も解決策を講じることが出来ずに25年ほど経った。</p> <p>どこへも出かかず、在宅で過ごしている方も多く見受けられる。鼻口腔から経管を差し込み、栄養補充されている方々を見掛けるとその方々の将来が心配になる。両親や兄弟姉妹がいてもなかなか、面倒を見切れないのが実情である。</p> <p>確実に2～3年後、自然と湧き上がってくる問題で、それに先立って、打ち出した。私も平成22年末に「右肩骨髄炎」を患ったが、その影響が出ている右手</p>	個人	保健福祉

を高く挙げた。

身体障害者支援療護施設は、県西地域に古河市の青嵐荘にしかなく、そこも定員が満杯で、パンクしたという情報を受けている。広域外でも桜川市のすみれ園や桃香園、かすみがうら市のしらうめ荘、小美玉市のたまりメリーホームがある。常に空き待ちの状態が続いている。東日本大震災で多大な被害を受けた北茨城市のはまなす荘は、修繕後、一時的に空きが出たが直ぐに埋まった。

身体障害者支援授産施設になると桜川市の菫授園、かすみがうら市のしらゆり荘、笠間市の県立リハビリテーションセンター授産棟で、福祉工場にいたっては、笠間市の茨城福祉工場だけになっている。これが坂東市、いや茨城県における実情である。

その方々のためにも身体障害者総合福祉施設「将門の館」を坂東市岩井に設置していただきたく提案する。どうか建てて頂きたい。

別途設計書案を独自に作成したが、坂東市や坂東市社会福祉協議会に単独で作って欲しいとは、申ししていない。県西地区の各市町村に働きかけが必要になって来る。茨城県議会で良くご審議して頂きたいと思う。国庫負担も絡んでくるので、徹底した審議をお願い申し上げる。